

化学のメガネで生活をみる

身の回りのさまざまな物も、私たち自身の体も、すべて物質からできています。物質の性質や特徴を詳しく知るには、化学の知識が必要です。この公開講座では、人体や食べ物、そして身の回りの生活用品がどのような物質からできていて、私たちの健康や生活とどのように関わっているのか、わかりやすく解説します。「化学」の視点を取り入れることで、何気なく過ごしている日常生活に新鮮な興味が湧いてくるはずです。

■日 時：平成 22 年 7 月 8 日・15 日・22 日・29 日（木）18:20～19:50

■会 場：県立広島大学 広島キャンパス（広島市南区宇品東 1-1-71）

※学内には来客用駐車場がありませんので、公共交通機関をご利用ください。

■内 容：

7 月 8 日	たった 4 個の元素が体をつくる	人間文化学部健康科学科 教授 江島 洋介
7 月 15 日	タンパク質：「命」を演出する多才な物質	人間文化学部健康科学科 助教 増山 悦子
7 月 22 日	生活を形作る物質	人間文化学部健康科学科 教授 藤田 健一
7 月 29 日	脂質のはなし	人間文化学部健康科学科 教授 石永 正隆

■受 講 料：無料

■募集人数：60 人程度

■対 象：どなたでも

■申込方法：往復はがきで、往信面の裏に①郵便番号、②住所、③お名前、④ふりがな、⑤電話番号を、返信面の表に受講される方の郵便番号、住所、お名前（「〇〇〇〇様」）をご記入の上、6 月 23 日（水）（消印有効）までに次のところにお送りください。受講案内は 6 月下旬にお届けします。

〒734-8558 広島市南区宇品東 1-1-71

県立広島大学地域連携センター「化学講座」係

電話（082）251-9534

(返信)	〇 〇 〇 〇 〇 様	(往信面の裏)	①郵便番号 ②住所 ③名前 ④ふりがな ⑤電話番号
------	----------------------------	---------	---------------------------------------

※申込にあたってお寄せいただいた個人情報は県立広島大学公開講座のご案内以外の目的には使用しません。

《主催 県立広島大学地域連携センター》

7月8日(木)

たった4個の元素が体をつくる

江島 洋介

人体の構成成分というと、いかにも複雑でむずかしい物質ばかりを想像しますが、生体分子は4種類(糖, 脂質, タンパク質, 核酸)に区分されていて、たった4個の元素がその主成分になっています。それぞれの生体分子の概要や特徴, 意外な側面などを, 身近な事例をもとに解説します。

7月15日(木)

タンパク質:「命」を演出する多才な物質

増山 悦子

私たちの体は70%を占める水分を除くと、ほとんどがタンパク質という素材から成り立っています。タンパク質分子はわずか20種類のアミノ酸が鎖のようにつながっています。その鎖が複雑に折りたたまれた「形」をとることではじめて、タンパク質としての働きが発揮できるようになります。物質から「命」に変貌するという謎を、タンパク質の「形」から解きあかしていきます。

7月22日(木)

生活を形作る物質

藤田 健一

私たちの身の回りで見られる生活用品は、大別して3種類の材料(金属, 無機, 有機)からできています。そのうちの有機材料は、別名、高分子物質(ポリマー)と呼ばれ、私たちの体の主要構成物質でもあります。高分子物質の研究の歴史はまだ浅いにもかかわらず、現在、私たちの生活の利便性・快適性の追求のためにはなくてはならない物質になっています。そのような高分子物質の概要・特徴・応用などについて解説します。

7月29日(木)

脂質のはなし

石永 正隆

マーガリンやチョコレート等には、脂質が多量に使われていますが、食品の種類によって、使われる油脂(脂肪)の種類も違ってきます。一方、細胞膜を構成している脂質の主成分はリン脂質で、他に糖脂質やコレステロールがあり、生命活動の重要な担い手となっています。また、魚に含まれるEPAやDHAは健康維持に大切な脂肪酸です。このように脂質にはいろんな種類があり、それぞれ化学的性質の違いから食品への使われ方、生命活動に対する生理的機能が違ってきます。これらについて解説します。